



はばたき

学校教育目標 豊かな心を持ち、たくましく伸びてゆく生徒の育成

令和元年度
札幌市立定山溪中学校
学校だより
第12号
令和2年3月25日

「頑張ることと努力すること」(修了式より) 校長 祖根 聖吾



卒業式から10日あまりが経ちました。式では、この度の新型コロナウイルス感染症予防対策のために在校生の出席が認められませんでした。皆さんも大変残念に思ったことでしょう。しかし、先生方のアイデアで、皆さんの笑顔の写真を拡大して、卒業生のお見送りの時に示されました。それを見た卒業生の笑顔は大変すがすがしいものでした。これまでの卒業生と1・2年生の結びつきの強さがうかがわれ、寂しさの中にも温かな気持ちの浮かぶ、とても良いひと時でした。

さて、今日は修了式です。1年間の成長を振り返り、来年度に向けて心を新たにする日です。

皆さんは、1年間本当によく努力をし、素晴らしい成長を遂げました。

2年生の皆さんは、いよいよ最上級生となります。卒業後の進路を早めに見定め、準備をしっかりとするとともに、行事では良い見本を示し、憧れの先輩となることを期待しています。

1年生の皆さんは、4月からは2年生となり、後輩ができます。新入生の不安を取り除くような思いやりある先輩となってください。

今日は、『頑張ることと努力すること』について考えてもらいます。似たような言葉ですが、違いは何でしょうか。先日、テレビのスポーツ番組を見ていたところ、高校サッカーの強豪である、青森山田高校サッカー部監督のインタビューが放送されていました。「私は頑張る子どもはあまり評価しません。努力する子どもを評価しますし、試合で起用します。」とっていました。彼の考えは、「頑張るとは、自分の好きなことや得意なことだけをやり続けることで、必ずしもチームの勝利に結びつくものではない。一方、努力するとは、チームを勝利に導くために、自分の役割を自覚し、苦手なことでもそれを克服するために練習に取り組むこと。」ということでした。どちらが集団の目標達成のために重要な選手と言えるのでしょうか。長所を伸ばすことを決して否定しませんが、それ以上にチームの目標達成のために苦手なことから逃げることなく挑む選手はチームにとって貴重な選手だとの考えです。また、それは自分自身の幸せにも結びついてくるともっていました。

学校生活に当てはめてみましょう。例えば、文化祭で演劇をやるとします。みんなが、この役しかやらないと言い張ったら演劇は成り立ちません。素晴らしい劇を披露するために、自分の我を出さず、決まった役どころの質を上げる取組がみんなを幸せにしますし、それは自分にも帰ってきて自分自身をも幸せにします。生活面や学習面でも努力をすることを厭わない人は、結局は周りの人々も自分自身も幸せにすることができます。

1年間が終わろうとしています。4月からは新しい学年で新しい生活が始まります。ぜひ、自分自身を見つめ、課題を自覚して克服のための努力をしてください。「4月からはこうしよう」と未来を見つめる春休みを過ごして欲しいと願っています。

退職・離任する教職員のご挨拶

小林大介(教頭) 本校勤務3年 西岡北中学校へ

春は白や紫やピンクに咲きほこる花々に心を癒され、夏は深緑の木々と抜けるような青い空に気分が晴れ渡り、秋は時間の流れさえも止まってしまうくらい美しい赤や黄色の紅葉に心を奪われ、冬は自分の居場所さえわからなくなるほどの真っ白な雪景色に自然の偉大さを感じさせられる定山溪。そして、生徒たちの真剣で真っ赤な情熱や真っ白で純粋な心にいつも感動を与えてもらう毎日でした。この3年間たくさんの色に囲まれて大変貴重な時間を過ごさせていただきました。

保護者や地域の皆様に支えていただき、心から感謝いたします。ありがとうございました。



村元美沙(国語科) 本校勤務5年 北栄中学校へ

定山溪中学校でお世話になることができ、充実した毎日を過ごすことができました。

生徒のみなさんと過ごした日々を思い出すと、定山溪中学校を離れるのは寂しくなります。真剣に授業に向かう姿や楽しそうな行事の様子を撮影するのが好きでした。いい顔をたくさん見ることができ、とても幸せでした。保護者の皆様にも、大変お世話になりました。至らない点も多かったと思いますが、ご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。

定山溪中学校で出会った方々のご健康とご活躍をお祈りしています。5年間、本当にありがとうございました。



片野瑠依(数学科) 本校勤務3年 北白石中学校へ

3年間本当にお世話になりました。ご迷惑をおかけしたことも多々あったと思いますが、保護者の皆様や地域の方々に支えられ、充実した時間を過ごすことができました。生徒の皆さんと「家族」のように接し、成長を間近で感じる事ができたこの3年間は大変幸せでした。ここでの生活が私の教員人生の原点であり、これからの一生の財産です。離れるのは寂しいですが、胸を張って、次の職場でも歩んでいこうと思います。これまで本当にありがとうございました。またお会いできる日を楽しみにしています。



小椋美雪(栄養士) 本校勤務6年 西区役所へ

定山溪中学校には、週に1度の勤務でしたが、素直で明るい生徒の皆さんと過ごす給食時間をとても楽しみにしていました。これからは、その時間がなくなると思うと寂しくなります。また、温かい職員室と保護者の皆さまに支えられ、6年間を過ごすことができ、お礼申し上げます。長い間、本当にありがとうございました。西区から皆さんのこれからを応援しています。

